

早稲田大学大学院情報生産システム研究科 中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度募集要項

※この選考は、中国政府の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家留学基金に奨学金申請を行う方を対象としています。

1. 募集概要

募集専攻 (分野)	情報生産システム工学専攻 ・情報アーキテクチャ分野 ・生産システム分野 ・集積システム分野
募集課程/プログラム	博士後期課程 博士学位取得を目指す3年間の正規課程
募集人員	博士後期課程 : 若干名
出願期間	国内出願:【2月入試】2019年1月7日(月)～1月18日(金)最終日消印有効 国外出願:【1月入試】2018年11月19日(月)～12月7日(金)最終日必着 【2月入試】2019年1月7日(月)～1月18日(金)最終日必着 内部進学:詳細はIPS 事務室に要問合せ。
選考方法	国内出願:書類選考、面接 国外出願:書類選考
結果発表	【1月入試合格者発表】2019年1月11日(金) 【2月入試合格者発表】2019年2月15日(金) 発表日の日本時間午前10時に、研究科ウェブサイト合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には願書様式1に記載された送付先住所宛に、合格通知を郵送またはEMSにてお送りします。(発表当日発送) ※合格通知と一緒に「受入内諾書」を送付致します。
入学時期	2019年9月

※研究活動拠点・教員等の詳細情報につきましては、「早稲田大学大学院情報生産システム研究科募集要項・パンフレット」をご参照ください。

2. 出願資格

以下の両方の条件を満たす者。

- (1) 中国政府の国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格を有し(※)、所定の手続により所属大学・その他機関等から推薦され、国家留学基金に奨学金申請を行う者。
- (2) 修士もしくは修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を得た者、または修士課程に在籍し2019年9月20日までに修士の学位を取得見込の者。一貫制博士課程(博士前期課程と博士後期課程の区別がない課程)に在籍する場合は、当研究科に入学するまでに所属大学大学院に2年以上在籍し、修士課程修了と同等の学力があると認められた者。

※ 国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラムへの申請資格は以下のとおり。

- ①中国国内に居住する者
修士・修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を取得した社会人もしくは博士後期課程1年に在籍する者、または中国国内の大学の修士課程に在籍し、2019年9月20日までに修士の学位を取得見込の者。
- ②中国国外に居住する者
申請資格については、中国国家留学基金に直接お問い合わせください。
(日本国内に居住している方は、在日本中国大使館までお問い合わせください)

※一貫制博士課程に所属する場合は、出願期間開始前までに当研究科アドミッションズ・オフィスにお問い合わせの上、入学願書(様式1)と学力や業績を証明する資料(卒業証明書、成績証明書、経歴書、研究業績書、特許など)を送付してください。

3. 出願手続

(1) 事前相談(必須)

願書提出以前に研究内容などについて指導希望教員とEメール等で連絡を取り、受入の承諾を得て、出願期間内にアドミッションズ・オフィス宛に出願書類を提出してください。早稲田大学の教員にコンタクトを取って内諾書をもらった場合でも、下記の出願期間に必ず出願を行い、合格する必要があります。下記の出願期間に出願をしていない場合には、本奨学金の受給資格は無く、早稲田大学に入学することは出来ないの注意してください。

【1月入試出願期間】2018年11月19日(月)～12月7日(金)

【2月入試出願期間】2019年1月7日(月)～1月18日(金)

※本学の博士後期課程1年に在籍する者の申請については、事前に留学センターまでご相談ください。(留学センター問い合わせ先 : TEL:03-3203-9806 E-mail: in-cie@list.waseda.jp)

(2) 入学検定料: 免除とします。

(3) 出願書類

<国内出願>

所定用紙		出 願 書 類
*	①	中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度(CSC)用入試申請用紙
*	②	入学願書【様式1】
*	③	研究計画書【様式2】
*	④	推薦書【様式3(A)】
*	⑤	卒業研究・修士論文等の報告書【様式4(A)】
*	⑥	宛名票
	⑦	卒業(見込)証書、修了(見込)証書、学位(取得見込)証書
	⑧	成績証明書(学部以上全部)
	⑨	在学証明書(博士後期課程在学者のみ)
	⑩	カラー写真2枚(②入学願書に貼付、もう1枚は他の出願書類とともに提出)
*	⑪	留学にかかる経費負担計画書【様式6】
	⑫	日本語能力または英語能力の証明書のコピー(資格保有者のみ)
	⑬	住民票 ※マイナンバーの記載がないもの。

<国外出願>

所定用紙		出 願 書 類
*	①	中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度(CSC)用入試申請用紙
*	②	入学願書【様式1】
*	③	研究計画書【様式2】
*	④	推薦書【様式3(A),(B),(C)のいずれか】
*	⑤	卒業研究・修士論文等の報告書【様式4(A)】または業績報告書【様式4(B)】
*	⑥	宛名票
	⑦	卒業(見込)証書、修了(見込)証書、学位(取得見込)証書
	⑧	成績証明書(学部以上全部)
	⑨	在学証明書(博士後期課程在学者のみ)
	⑩	カラー写真2枚(②入学願書に貼付、もう1枚は他の出願書類とともに提出)
*	⑪	留学にかかる経費負担計画書【様式6】
	⑫	日本語能力または英語能力の証明書のコピー(資格保有者のみ)
	⑭	パスポートのコピー

<各出願書類に関する詳細説明>

①CSC用入試申請用紙

この申請用紙を記入の上、その他の出願書類と一緒に送ってください。これを添付することで、CSC奨学金制度用入試への申請手続きとみなします。

②入学願書【様式1】

すべて洩れないように記入してください。

所定欄に⑩カラー写真(縦4cm×横3cm)を貼付。他の出願書類とともに提出する写真と同じ写真を貼付してください。

学歴については、現在在学中の方は、見込みで記入してください。

メールアドレス欄には Hotmail アドレス・MSN アドレス・携帯電話のアドレス以外で、必ず連絡がとれるアドレスを記入してください。

なお、出願書類等に不備があった際は、メールで連絡する場合がありますので、ご注意ください。

③研究計画書【様式2】

希望する研究課題、研究計画の概要を記入してください。字数は1,000字以内(英文の場合は、500ワード以内)・別紙不可とします。

④推薦書【様式3(A),(B),(C)のいずれか】

推薦書は英語または日本語で作成し、厳封してください。

日付と推薦者の署名または印鑑があることを必ず確認のうえ、原本を提出してください。

大学院在学中の場合、論文指導教員またはそれに準じる教員の推薦書を提出してください。【様式3(A)または(B)】

社会人の場合、研究・開発分野の責任者またはそれに準じる方の推薦書を提出してください。【様式3(C)】

⑤卒業研究・修士論文等の報告書【様式4(A)】または業績報告書【様式4(B)】

修士論文等について記述してください。修士論文が課せられていない場合や未着手の場合は、これまでの学習・研究業績あるいは研究計画のいずれかについて記述してください。【様式4(A)】

社会人志願者は業績報告等について記述してください。【様式4(B)】

発表論文のある方は参考資料として論文別刷等を添付してください。

⑥宛名票

入学願書【様式1】に記入した、送付先住所(受験票・選考結果通知・入学手続書類等が確実に届く住所)・氏名を4枚のラベルすべてに記入してください。送付先が日本国外の場合、必ず英語で記入してください。

⑦卒業(見込)証書、修了(見込)証書、学位(取得見込)証書

出身大学が発行した学部卒の卒業証明書(原本、日本語または英語)および卒業証書コピー(写真付、中国語)、出身大学が発行した修士修了証明書(原本、日本語または英語)および修士修了証書コピー(写真付、中国語)、出身大学が発行した修士学位証明書(原本、日本語または英語)および修士学位証書コピー(写真付、中国語)を提出してください。

大学を卒業し、学位を取得した方は、出身大学が発行した学士学位証明書(日本語または英語)および学士学位証書(写真付、中国語)も提出してください。

出願時に修了見込の場合は、所属大学が発行した修了見込証明書、学位取得見込証明書(日本語または英語)の原本を提出し、修了後ただちに出身大学が発行した修士修了証明書(原本、日本語または英語)および修了証書コピー(写真付、中国語)、出身大学が発行した修士学位証明書(原本、日本語または英語)および修士学位証書コピー(写真付、中国語)を提出してください。

入学試験に合格されても、入学までに大学入学資格取得の証明書を提出できない場合は、入学を認められません。

⑧成績証明書(学部以上全部)

出身大学の印が押してある学部および修士課程の成績証明書の原本(日本語または英語)を提出してください。博士後期課程在籍中の方は博士後期課程の成績証明書原本(日本語または英語)も提出してください。

証明書のコピーならびに公証書での提出は認めません。

証明書が複数ページに渡る場合には、全てのページに氏名と学校印が必要です。

⑨在学証明書(博士後期課程在学者のみ)

大学の印が押してある在学証明書の原本(日本語または英語)を提出してください。

⑩カラー写真2枚(②入学願書に貼付、もう1枚は他の出願書類とともに提出)

縦4cm×横3cm(3ヶ月以内に撮影されたもの、枠無し、上半身、無帽、正面、無背景)のカラー写真を、1枚は②入学願書の1枚目に貼付し、もう1枚は裏面に氏名を記入の上、他の出願書類とともに提出してください。眼鏡の有無、髪形等、試験場において間違われるような写真は不可とします。なお、入学手続きの際にも、同一ネガの写真が2枚必要となります。

ご提出いただいた写真は、試験当日の本人確認、また入学後は学生証の写真として利用するほか、学内諸手続きにおける本人確認、および学内の各種 Web サービス等に本人確認情報として登録させていただきますので、あらかじめご了承ください。

⑪留学にかかる経費負担計画書【様式6】

留学の経費を誰がどのように負担するかを日本円で記入してください。

⑫日本語能力または英語能力の証明書のコピー(資格保有者のみ)

日本語または英語能力に関する資格がある場合、証明書のコピーを提出してください。

⑬住民票(国内出願の外国人のみ)

マイナンバーが記載されておらず、在留資格及び在留期間、住所が記載された3ヶ月以内に発行された原本を提出してください。

必ず、区役所または市役所で証明書を入手してください。

⑭パスポートコピー(国外出願の外国人のみ)

顔写真のページを送ってください。

未取得者および申請中の場合は、取得次第すぐにファックスまたはEメールでお送りください。

(4) 出願上の注意

- ・出願書類は日本語または英語で出願者本人が作成し、黒か青のペンで記入してください。
所定用紙フォーマットは下記ウェブサイトからダウンロードすることができます。

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/>

- ・字数制限のある書類は字数厳守で作成してください。
- ・該当する書類全てを一括し、所定の封筒に入れて、
国内出願:郵便局から「速達の簡易書留」で郵送してください。
国外出願:追跡できる最も速い方法で送ってください。

【送付先】

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科 アドミSSIONズ・オフィス

- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験できないことがあるので十分に注意してください。また早稲田大学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ・出願の際に当研究科に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等は返還しません。
- ・出願書類は一切返却できません。特に提出物に知的所有権を第三者が所有している等のケースについては、提出後に問題が生じないよう事前に解決願います。なお、一度提出した書類のコピーもできません。ただし再発行が不可能な書類に限り、書類の返却を行います。
- ・出願後に願書に書かれている住所・電話番号・e-mail address を変更した場合は、すぐに
koho-ips@list.waseda.jp 宛にご連絡ください。変更が原因で早稲田大学からの連絡が受験生に届かなかったとしても、早稲田大学は一切の責任を負いません。変更を届け出なかった場合は、受験資格を失うことがあるのでご注意ください。
- ・提出書類中の推薦書および各種証明書は、発行元や公的機関等に提供して内容を照会することがあります。出願にあたり、その旨を事前にご了承ください。
- ・身体機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち情報生産システム研究科にお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。

4. 選考方法

国内出願は、提出された出願書類により、書類選考および面接を行います。

国外出願は、提出された出願書類により、書類選考を行います。

5. 合格者発表

【1月入試合格者発表】2019年1月11日(金)

【2月入試合格者発表】2019年2月15日(金)

発表日の日本時間午前10時に、研究科ウェブサイト to 合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には願書様式1に記載された送付先住所宛に、合格通知を郵送またはEMSにてお送りします。(発表当日発送)

※合格通知と一緒に「受入内諾書」を送付致します。

<受入内諾書受領後の手続き>

日程	中国側	早稲田大学側
2019年 3月中旬~4月上旬 (予定)	①候補者に選ばれた志願者が早稲田大学の受入内諾書を所属大学に提出し、かつ国家留学基金へのオンライン申し込みを完了する。	
2019年5月 (予定)	②国家留学基金が「奨学金受給者」を正式に決定する。「奨学金受給者」に採用された志願者は、国家留学基金から発行された「奨学金給付証明書(原本)」を早稲田大学に提出する。	③早稲田大学が「奨学金受給者」の正式決定をもとに「最終合格者」を決定し、入学手続きに関する通知を行う。

6. 学費・奨学金等の取り扱い

- ・国家留学基金の奨学金受給者に採用されなかった場合、早稲田大学の受入内諾を取り消す。
- ・当制度で採用された学生に対し、早稲田大学在籍中(博士後期課程は最長36ヶ月)の入学金、学費、諸会費は免除とする。ただし基本の修了要件にはない、任意で受講する自由科目(日本語科目等)に関しては各自で費用を負担すること。
- ・早稲田大学のその他の学内奨学金や国費等授業料減免を含む学外奨学金との併願は不可とする。
- ・学生の生活費、往復航空券は国家留学基金により学生本人に支給される。
- ・早稲田大学は合格者に対し、日本における宿舍の情報提供を行う。入学予定者は各自で宿舍を手配し、賃料を各自で負担する。
- ・当制度は、早稲田大学在籍中の在留資格が「留学」である者に限る。

7. 入学手続

受入が内諾された方に合格通知とともに「受入内諾書」を送付しますので、所定の手続きに従って、受入内諾書を所属大学に提出するとともに、国家留学基金にオンライン申請を行ってください。

国家留学基金にて奨学金給付者に決定された方は、奨学金給付証明書(原本、英語)を情報生産システム研究科アドミッションズ・オフィスに送付してください。こちらで確認後、返送します。

入学手続に必要な書類を全て記入・取り揃えた上で、定められた入学手続期間内に手続を行ってください(郵送の場合は入学手続最終日必着)。なお、正当な理由により期間内に手続きが出来ない場合、情報生産システム研究科アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

※入学手続期間については、IPSウェブサイトをご参照ください。

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/>

8. 入学試験受験に際しての注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

- (1)出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
- (2)次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ・カンニングをすること(試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わるなど)。
 - ・筆記試験において、使用を認められていない物品を使用すること。
 - ・筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること(冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど)。
 - ・筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ・試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ・試験時間中に携帯電話を身に付けること、使用すること。
 - ・試験時間中に携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
 - ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - ・志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (3)不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室での受験を求めること。
- (4)不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

9. 早稲田大学入学試験実施に際しての措置

早稲田大学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。
あらかじめご了承ください。

(1)受験環境について

可能な限り公平・厳粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音(航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話等や時計の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感ずる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。

(2)不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

10. 連絡先

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科アドミッションズ・オフィス

TEL: +81-93-692-5017 FAX: +81-93-692-5021

URL: <https://www.waseda.jp/fsci/gips/>

E-mail: koho-ips@list.waseda.jp

アドミッションズ・オフィス開室時間 9:00-17:00 (日本時間)【土曜日・日曜日・祝祭日は除く】